

八千代町 地域公共交通計画 概要版

令和6(2024)年3月
八千代町





計画策定の背景・目的

本国においては、高齢化の進行により、移動に制約を伴う「交通弱者」が増加しており、地域の移動を支えるために公共交通の重要性は年々増えています。本町においても、令和2（2020）年度よりデマンド交通「八菜まわ〜る号」の運行を開始するなど、地域の足を確保するための取組が進められていますが、将来的な公共交通網の確保のためには、抜本的な対策が求められています。

こうした状況を踏まえ、交通に関わる様々な主体だけでなく、他分野も合わせた地域全体が相互に協力し、持続可能な形で公共交通サービスの維持確保を図ることを目的として、本町の公共交通関連政策のマスタープランとなる「八千代町地域公共交通計画」の策定を行います。



計画の位置付け

上位計画である「八千代町第6次総合計画」や関連計画などとの整合を図るとともに、地域公共交通を取り巻く課題を解決するための、公共交通政策のマスタープランとして策定します。



計画の対象地域

本計画の対象区域は、八千代町全域とします。ただし、本町と古河市を結ぶ公共交通として路線バスが運行されていることや、町民の生活圏が近隣市町に及んでいること等を踏まえ、広域的なネットワークのあり方等も含めて検討していきます。

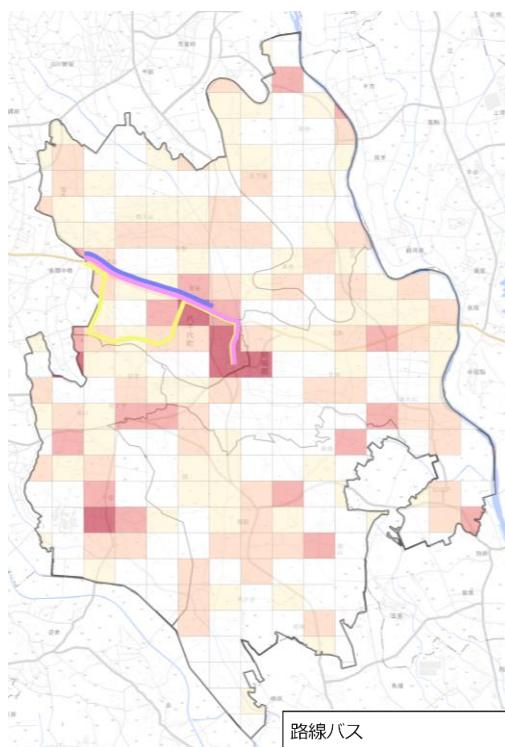
また、本計画においては、従来の公共交通サービスに加えて、地域にある多様な輸送資源の有効活用についても、併せて検討していきます。



計画の期間

本計画の期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とします。ただし、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

■八千代町の地域公共交通網



路線バス	
	古河駅東口-八千代町役場
	古河駅東口-菅谷
	古河駅東口-八千代高校前経由-八千代町役場
	町域
	地域境界線
人口メッシュ(500m)	
	1 - 60人
	61 - 120人
	121 - 200人
	201 - 300人
	301人以上



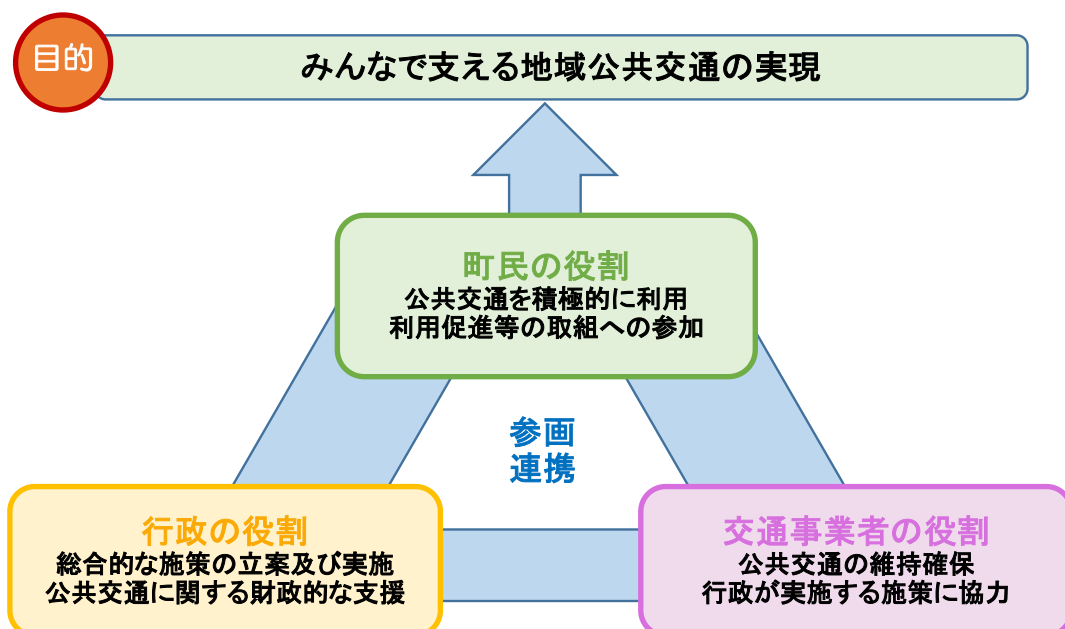
地域公共交通を取り巻く現状と課題

- 令和5年1月の人口は約21,200人で今後も人口減少は続く見込みとなっており、令和27年には人口は約15,200人にまで減少することが見込まれています。
- 町内だけでなく、町外に移動しやすい交通を検討していくことが求められます。
- 商業施設、医療施設、公共施設、教育施設は、市街化区域に多く立地しており、各地区から市街化区域へのアクセス確保が求められます。
- 総合計画や総合戦略では、暮らしやすい住環境に向けて、デマンド交通の利便性向上、福祉タクシー助成の充実、近隣市町村との広域的な交通網の形成などを取組内容として位置づけています。

■ 地域公共交通を取り巻く課題



▼町民・交通事業者・行政の連携イメージ





計画の基本方針と目標

<基本理念>

誰もが便利・安心に利用できる公共交通

～地域内外の交流を通じて、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通～

基本方針 1

町内移動の利便性向上によるまちづくりの推進

計画目標① 町内公共交通の利用者数の拡大

計画目標② 町内公共交通の利便性及び満足度の向上

町内移動の利便性向上に向けた
地域公共交通網の構築

各公共交通の運行内容や運行形態の検討により、地域公共交通の維持・改善、利便性と満足度の向上を目指します。

評価指標	現状値（R4年度）	目標値（R9年度）
八菜まわ～る号の利用登録者数及び利用者数	登録者：847人 利用者：3,102人	登録者：1,100人 利用者：3,500人
運転免許証の返納者数	年間43人	年間65人

基本方針 2

町外移動の公共交通網の構築による生活利便性の向上

計画目標③ 地域公共交通の利用圏域及び利用者数の拡大

計画目標④ 地域公共交通の利便性及び満足度の向上

町外移動の維持・拡充に向けた
地域公共交通網の構築

各公共交通の運行内容や運行形態の検討及び周辺市や交通モード間の連携のもと、地域公共交通の利用圏域及び公共交通利用者数の拡大を目指します。

評価指標	現状値（R4年度）	目標値（R9年度）
公共交通利用者数	路線バス 60,490人	路線バス 60,490人
地域公共交通に対する満足度	33.8%	38.8%

基本方針 3

みんなで支える公共交通の実現

計画目標⑤ クルマ社会から

クルマときどき公共交通への転換

地域公共交通の利用促進と
意識啓発の実施

公共交通に興味と愛着を持ち、「公共交通は、みんなで創り、守り、育てるもの」という意識を持って、その利用促進に主体的に関わっていくためのきっかけづくりとなる取組の展開を目指します。

評価指標	現状値（R4年度）	目標値（R9年度）
公共交通に興味を持ってもらい、 利用しようと思ってもらえる取組の実施回数	—	8回（累積）



目標達成に向けた施策

目標 1

町内移動の利便性向上に向けた地域公共交通網の構築

施策 1 八菜まわ～る号の見直し及び高度化（AI化）

- ・本町の全域を網羅的にカバーしている八菜まわ～る号について、利用者のニーズに対応し、運行サービスの拡大などの見直しを図ります。
- ・現在の運行体制の中で運行サービスを拡大していく方策として、車両によって運行時間をシフトすることで、利用者にとっては利用できる時間が拡大することにつながります。現在の1時間間隔の運行から30分間隔の運行への移行を行います。
- ・AI機能などを導入して、予約締切時間の短縮に対応して、利用したい時に利用できる運行方法にするなどの高度化に向けた検討を行います。



▲AIオンデマンド型乗合交通の概要
(政府広報オンライン)

施策 2 中心部等の周遊性向上に向けた新たな公共交通の導入検討

- ・シェアサイクル、グリーンスローモビリティ、地域主体の自家用有償旅客運送といった小型モビリティなどの新たな公共交通の導入を検討します。
- ・路線バスで八千代町役場まで移動してきた利用者のラストワンマイルの公共交通としても機能するように、八千代町役場周辺の主要拠点にポートを設置するなど、中心部周辺を自由に移動できるような交通の導入を検討します。
- ・若年層向けとしてシェアサイクル、高齢者向けとしてグリーンスローモビリティなどの小型モビリティの導入を検討します。モビリティの技術開発の状況に応じて電動キックボードも検討します。
- ・また、交通事業者などの関係者と協議した上で、地域主体による自家用有償旅客運送などの交通手段も含めて検討します。



▲電動キックボード
(常陸太田市)



▲地域主体による運行
自家用有償旅客運送
(千葉県木更津市)



▲グリーンスローモビリティ
(福島県塙町)

施策3 路線バスや八菜まわ〜る号の乗降場周辺の環境整備

- ・主要な交通結節点のアクセスのしやすさ及びラストワンマイルの公共交通を検討します。
- ・自宅から路線バスのバス停までの移動手段、バス停から自宅までの移動手段として自転車を利用する方のために、バス停周辺のスペースに駐輪場の整備を検討します。
- ・施策2の新たな公共交通の導入検討と合わせて、主要な交通結節点にシェアサイクル等のポートの設置を検討します。
- ・自転車がラストワンマイルの公共交通として機能するようなシステムを検討します。



▲シェアサイクルイメージ
(HELLO CYCLING)



▲サイクルアンドバスライド
(埼玉県蓮田市)

施策4 公共交通情報の一元化

- ・八菜まわ〜る号、路線バスなどの運行情報を一元化し、八菜まわ〜る号の運行情報、路線バスの最寄りのバス停案内や目的地までの経路検索、予約時に路線バスの情報も確認できる仕組みを構築するなど、スマートフォンやタブレット等を通じた運行情報サービスの提供を受けることができるように、公共交通の情報を一元化する取組について、導入を検討します。



▲かみす交通ナビ
(神栖市)



▲やまなしバスコンシェルジュ
(一般社団法人山梨県バス協会)

目標2 町外移動の維持・拡充に向けた地域公共交通網の構築

施策5 路線バスの維持・確保

- ・路線バスについて、現在の路線を維持しつつ、利用者のニーズ、交通事業者を取り巻く課題、他の交通モードとの連携を踏まえて、見直しを検討します。

施策6 町外移動への支援

- ・八菜まわ〜る号について、利用者のニーズに対応し運行エリアの拡大などの見直しを検討します。また、周辺市の輸送資源との連携の検討を行います。

施策7 福祉タクシー利用料金助成事業の見直し

- ・福祉タクシー利用料金助成事業について、利用者のニーズを踏まえて、見直しを検討します。
- ・現在の対象者に加えて、75歳以上の高齢者全員や、年齢を問わず運転免許証の自主返納者を対象に加えるなど要件緩和に向けた検討をします。現在、利用目的は通院・通所となっており、買物目的などの利用目的の拡大を検討します。

施策8 交通結節点における環境整備

- ・公共交通同士を接続する拠点において、待合環境の整備、接続強化に関する施策を実施します。
- ・待合環境の向上に向けた取組を進めるため、公共施設、商業施設などと協議し、空きスペースなどの有効活用を検討します。
- ・役場内に路線バス、八菜まわ〜る号の運行時刻や乗り継ぎ情報等の運行情報を示したデジタルサイネージなどの案内板の設置を検討します。



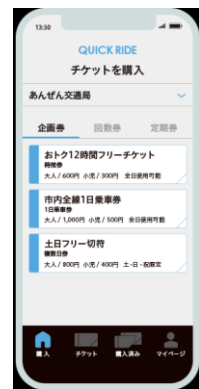
▲商業施設と連携した待合スペース
(神奈川県横浜市)

施策9 利用しやすく、乗りやすいバリアフリーに配慮した環境づくり

- ・路線バスは、現金（定期券を含む）のみの対応となっています。昨今、電子機器の設置を必要としないキャッシュレス決済の導入も増えてきており、キャッシュレス決済の導入について検討します。
- ・高齢者や障がい者、妊産婦など、誰もが公共交通を利用しやすい環境を整備するために、バスやタクシー車両のバリアフリー化、停留所や待合所などの交通結節点におけるバリアフリー化による利便性向上が求められているため、引き続き、ノンステップバスやUDタクシーなどユニバーサルデザイン化に向けた取組を推進します。



▲UDタクシー
(ユニバーサルデザインタクシー)



▲QUICK RIDE

目標 3

地域公共交通の利用促進と意識啓発の実施

施策 10 地域公共交通利用に向けた意識啓発の実施

- これまで以上に地域公共交通を利用してもらうために、高齢者や児童・生徒を対象としたバスや乗合タクシーの乗り方教室の開催や出前講座を実施し、地域公共交通の現状について情報を提供するとともに、地域公共交通の利用に関する意識啓発を実施することが必要となります。
- 過度に自動車に依存することなく、「クルマのみ」から「クルマ時々公共交通」への意識啓発を促すための取組を展開します。
- 出前講座や乗り方教室の開催時に、地域公共交通に関する利用促進リーフレットなどを配布し、利用促進につなげます。
- 高校生に対して、利用促進リーフレット及びお試し乗車券を配布し、公共交通を利用した通学の定着につなげます。



▲バスの乗り方教室
(常陸大宮市)



▲児童・生徒への出前講座
(神栖市)



▲公共交通利用促進リーフレット
(茨城県公共交通活性化会議)

施策 11 公共交通の運行情報の発信

- 利用者目線でわかりやすく、本町の公共交通を網羅した総合的な公共交通ガイドブックを新たに作成し、町民へ配布するとともに、町内主要施設に配架することにより公共交通の情報提供の充実を図ります。なお、作成にあたっては、公共交通の利用方法を記載するなど、きめ細かな情報提供に努めます。
- 公共交通ガイドブックについては、紙媒体だけでなく、スマートフォンやタブレット等でも閲覧できるよう、デジタル化を行います。



▲総合的な公共交通マップ
(青森県八戸市)

発行：八千代町

〒300-3592 茨城県結城郡八千代町菅谷1170

TEL：0296-48-1111

FAX：0296-48-0161

HP：<https://www.town.ibaraki-yachiyo.lg.jp/>